

立教大学広告研究会 OB・OG 会 & 花友会 合同福祉施設慰問団
報告

今年（平成27年）2月、栃木県で開催された「全国学びとまちづくりフォーラム in 佐野」の夜の交流会で、「館山小唄」で館山市を PR する私達花友会と立教大学の皆さんとの出会いがあった。佐野市の副市長さんが、「立教大学広告研究会 OB・OG 会」会員であったからである（*編注：S50 卒、落合正さん）。歓談中、杉本さん（*編注：S49 卒、杉本誠三さん）が、「東京の福祉施設で三波春夫の【元禄名槍譜俵星玄蕃】の慰問をしている、館山でもやりましょうか」と言われたのが、今回の「福祉施設慰問」旅の一座実現のきっかけである。館山市生涯学習課、田中泰夫係長から2ヶ所の施設をご紹介いただいた。以下、素晴らしかった様子を簡単に報告したい。

訪問日：平成27年11月5日（木）午後

訪問先：1) 館山ケアセンター夢くらぶ

2) 館山特別養護老人ホーム

まず、颯爽と現れた杉本さんが、持ち込みの機材を駆使しながら挨拶を兼ね、コロムビアの久保幸江さん歌う「館山小唄」を紹介。前列の車椅子の2~3人のおばあさんが「た た たてやま またおいで またおいで」と小声で歌っている。やっぱり覚えている方がいるんだと、すっかり嬉しくなった私達。92歳の佐野花友会会長の若々しい挨拶に続く房州民謡の「いっちゃ節」では、手拍子とともに「いっちゃ いっちゃ いっちゃさ！」と、声を張り上げて会場いっぱいに響けとばかりに囃せば、お年寄りの皆さんも笑顔になり、尺八・三味線の伴奏付きで「館山小唄」「白浜音頭」「九州炭坑節」と歌い進んで「南京玉すだれ」。鋸南町から鴨川市までの風物を歌い込んだ、巧みなオリジナルの口上と振り付けで場内を沸かせた。

さて、いよいよ待望の杉本さんの登場。なんと、剣道の稽古着に自作のザンバラ髪のかつら。見慣れたイケメンも、今日ほうらぶれた浪人姿に変身。ところが、曲に合わせて流れる言葉の滑らかさ。長い文語調の浪曲の文句も美しい声でスラスラ。場内、すっかり圧倒されて聞き惚れてしまった。「さすが、立教大学広告研究会の OB！」と、絶賛の声しきり。

最後は、腹話術人形のノンちゃんが「みなさん、長生きしてください。こんなふうに、ずっと、細く、長く、美しく！」とピンクの紙テープの鮮やかな流れをご覧に入れて終了に。

2会場とも、たくさんの笑顔の溢れる素晴らしい福祉施設慰問であった。杉本さん、ほんとうにありがとうございました。感謝、感謝です。

花友会：松苗禮子 記